

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 岱明町ホタルの里維持管理業務	施設の点検、修理等を行い、適切に管理する。	点検、修理確認回数	回	26	23	25	20
② 岱明町ホタルの里委託業務	ホタルの生育に必要な環境の整備を外部に委託して行う。	環境保全活動日数	日	358	365	344	350
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	H26実績
1 成虫したホタルの割合	幼虫から成虫になったホタルの割合	%	25	25	25	25
			25	10	15	
2 ホタルや環境保全に関心を持つ人数	観賞会・保護活動等に参加した人数	人	2,000	2,100	2,100	2,100
			2,300	2,260	2,400	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	ホタルが飛び交う豊かで美しい自然環境は玉名市の財産であり、その保全は地域・学校・行政が連携して進めていくべき大切な事業である。また、地元小学校の自然環境の学習にも大変役立っていることから、廃止等の影響は大きいことが予測できる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	環境学習・教育やPRにより環境保全意識が高まり、活動への参加者が増える余地がある。引き続き親水性に配慮した整備が進むことで、ホタルの数も増え、飛翔期間中約2,000人の来訪者がさらに増えることが期待される。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	ホタルの里を子どもなどの環境学習の拠点として活用することは極めて有効であり、本事業の継続は妥当である。これからも、市が掲げる「環境の先進地、環境立都 玉名」を目指して、自然環境保全の啓発を進めていき、対外PR(広報・ホームページ)や保護活動を進めていく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	現在ホタルの里の環境保全活動の中心的な存在として関わる後継者の育成を目的に、地元校区の住民等との調整・協議を行い、個人への管理業務委託を平成26年度から市民団体管理に移した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	適切な維持管理を行い、環境学習の拠点施設として自然環境保全の大切さを発信し、地域のボランティア活動も盛んである。ホタル生育に適した水量確保・保水のための改善策を検討する。	評価責任者 坂本 政輝
------------------	---	----------------